

担任サポート 動画9 <2月第1回>



個人面接 (場面指導編①)



1

場面指導の実施方法

実施方法	実施時期	演技	追質問
単 独	日程設定	伴う	原則なし
個人面接内	最 初	伴う(多い)	可能性あり
	最 後	伴う(多い)	原則なし
	途 中	伴わない(多い)	可能性あり

2

場面指導の方法(9パターン+3事例)

対 象		学習指導	生徒指導	特別事例
児童生徒	個別	A	B	いじめ 不登校 校外活動
	グループ	C	D	
	学級	E	F	
保護者		G（学習、友人関係など）		
地域住民		H		
教職員		I（意見対立、服務事故など）		

3

場面指導 (児童・生徒対応)

4

対応の基本

- 指導法に正解なし
- 傾聴の姿勢
- 子供が考え解決
- 教育的愛情
- 複数の対応策

対応のポイント

- 正確な事実確認
- 価値・必要性等の認識
- 行為等の振り返り
- 子供や保護者の反応
- 励ましと共感
- 報告・組織対応
- 事後対応

演技を伴う場合

表情	明るい表情、穏やかな表情、厳しい表情、無表情 など
視線	子供をしっかり見るか、視線をそらすか、時々子供を見るか
動作・態度	落ち着いた態度、優しい姿勢、傾聴の姿勢、威圧的な態度など ※急な態度の変化や落ち着きのない動作は信頼を失う
位置	正面か横か、立つか座るか
話し方	穏やか、優しい、厳しい、温かい、冷たい など
対応時間	実施時間を厳守

子供への指導プロセス

1	初期対応	子供への指導等を実施する前にやるべきことがあれば対応する。(他の子供への対応、安全確保など)
2	事実確認	聞き取りや指導記録の確認などにより、具体的に「いつ、どこで、誰が、何をした」等を調査する。
3	原因究明	本人に確認したり、関係者から情報を収集したりして、原因を明確にする。教師が可能性のある複数の原因を考えておく。
4	目標明確化	子供に自分の課題を認識させる。「正しい姿」、「本来あるべき姿」を言語化させるなどにより、達成すべき目標を明確にする。
5	対策検討, 実施	どうすれば正しい姿・本来あるべき姿に近づくことができるか子供に考えさせる。目標達成が難しいと想定される場合は、指導・助言する。
6	評価, 事後対応	検討した対策を実施し、実施中、実施後には振り返りを行う。状況に応じて、主任や管理職へ報告・相談する。さらに、関係者への連絡も必要になる。

5

6

授業中やる気のない子供がいたので注意したところ、塾や予備校で勉強しているので学校の授業はつまらないと言われました。どのように対応しますか。

まず考えること

- いつ指導するか
- 指導方針をどうするか



【事例】個別・学習・問題
授業がつまらないと言われた

7

授業がつまらないと言われた

初期対応	・しっかり授業に参加するように励ます。 ・授業後、本人を呼んで話を聞く。
事実確認	・どこがつまらないのか聞く。
原因究明	・塾と学校の勉強は同じなのか考えを聞く。
目標明確	・身につける資質・能力を考えさせる。 ・どうすれば意欲的になるか考えさせる。
対策検討	・どうすればよいか本人に考えさせる。 ・授業展開を工夫する。
事後対応	・その後の授業態度等について本人に振り返りをさせる。

8

掃除をさぼって廊下で遊んでいる子供を見つけました。
どのように指導しますか。

まず考えること

- いつ指導するか
- どこで指導するか
- 他の生徒への対応をどうするか



〔事例〕個別・生活・問題
掃除をしない生徒

掃除をしない生徒への対応

初期対応	・ 同じグループの他の生徒にAさんが掃除を抜けることを話す。
事実確認	・ どの程度掃除をしているのか確認する。
原因究明	・ 掃除をしない理由を聞く。
目標明確	・ 掃除をしなければならない理由を確認する。 ・ 掃除をする時の自分の正しい姿を想定させる。
対策検討	・ 掃除当番をきちんとするための方策を考えさせる。 ・ 目標を設定する。 ・ 最後に、励まして終わりにする。
事後対応	・ 掃除後にAさんに掃除の様子を振り返りをさせる。 ・ 状況に応じ、学年主任や生徒指導主事などに報告する。